

株式会社湘南国際村協会の経営見直し（減損減資）について

株式会社湘南国際村協会は平成 29 年度決算において約 11 億円の減損処理を行い、併せて累積損失の解消を図り、財務体質の強化を図るため、平成 30 年 7 月に約 20 億円の減資を行いました。

これにより、株式会社湘南国際村協会の資本金は 25 億円から 4 億 9,400 万円に減少しました。

減損減資の内容

(単位：百万円)

【減損減資前】	① 減損 △1,103	【減損後】	③ 減資 △2,006	【減資後】
固定資産 (建物・設備) 1,926	→	固定資産 (建物・設備) 823	→	固定資産 (建物・設備) 823
資本金 2,500	↓	資本金 2,500	→	資本金 494
利益剰余金 (累積損失) △903	↓	利益剰余金 (累積損失) △2,006	→	利益剰余金 (累積損失) 0
純資産合計 1,597	② ↑ 累損増	純資産合計 494	④ ↑ 累損解消	純資産合計 494

※ 減損とは、固定資産の収益性が低下し、その投資額を回収する見込みがなくなったときに、帳簿価額を一定の条件の下で回収可能価額まで減額する会計処理で、実態に即した情報を開示しようとするもの。

1 経緯

- 平成 27 年度から 30 年度までの 4 年間で、竣工 20 年経過後の計画的な大規模修繕工事を実施することとし、営業利益については、平成 27・28 年度は赤字、29 年度からは黒字となる計画としていた。
- そうした中で、平成 29 年度決算では、新規顧客開拓など様々な営業努力を行った結果、宿泊人数については目標を達成したものの、客単価の減少に伴い、営業利益については平成 27・28 年度に続き 3 期連続で赤字となった。

2 経営健全化に向けた取組み

(1) 減損減資の実施

営業利益が3期連続で赤字となったことを受け、村協会では会計監査人から減損（固定資産の減額）の処理が必要であると判定された。

村協会では、減損を行うとともに、財務体質の改善（累積損失の解消及びコスト削減）を図るため、減資（資本金の減額）を行った。

(2) 減損減資の効果

- ・ 経営努力のみでは解消が困難な累積損失が整理され、対外的な財務信用力の向上が図られる。
- ・ 減価償却費や税負担などの減少により、毎年約5千万円の営業費用等が削減され、安定的に営業利益が黒字になると見込まれる。

(3) 経営改善計画

ア 売上等目標

（単位）宿泊人数は「人」、金額は「百万円」

区分	29年度 (参考)	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
宿泊人数	33,067	33,300	33,600	33,400	34,200	34,500
売上高	593	597	602	632	642	645
営業利益	△ 37	64	63	71	80	84

イ 改訂後の売上等目標の達成に向けた取組み

(7) 村協会による売上向上の取組み

村協会は、次の取組み等により企業・団体向けの一層の営業強化等を進め、更なる宿泊人数・売上高の増に向けて目標達成を目指す。

- 閑散期対策の充実強化
- 湘南国際村センターの強みを生かした提案型営業
- ホームページの全面刷新による集客の強化
- 休眠顧客の掘起しのための訪問営業の実施
- レストランの来客数を増加させるためのメニューの改善
- 旅行業登録を活用した他施設の紹介・小旅行の企画等

(イ) 県による村協会への支援等

県の持つあらゆるネットワークを活用し、湘南国際村センターへの企業・団体・大学等の利用増、学会・国際会議・教育旅行の誘致等に村協会と協働で取り組み、更なる売上向上を支援していく。

3 平成 30 年度の経営状況

	計画	実績
宿泊人数	33,300 人	35,145 人
売上高	597 百万円	611 百万円
営業利益	64 百万円	84 百万円